神戸大学大学院国際文化学研究科

令和5年度（2023年度） 博士課程前期課程入学試験　試験問題

専門科目

科目名	ページ
日本学	1-2
アジア・太平洋文化論	3-4
ヨーロッパ・アメリカ文化論	5-6
文化人類学	7-8
比較文明・比較文化論	9-10
国際関係・比較政治論	11-12
モダニティ論	13-14
先端社会論	15-16
芸術文化論	17-19
言語コミュニケーション	20-21
感性コミュニケーション	22-23
情報コミュニケーション	24-25
外国語教育システム論	26-27
外国語教育コンテンツ論	28-29

注意事項

著作権に対する配慮のため問題文を省略している場合があります。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：地域文化系

コース：日本学

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
地域文化系領域日本学コース

（注）問題用紙 1 枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚
問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に日本語または英語で記入すること

問題 I　日本の文化・社会に関する最近の研究動向について、具体的な文献をあげながら説明しなさい。

問題 II　以下のキーワードから複数を選択したうえで、それらのキーワードを用いながら、テーマを自由に設定し、論じなさい。

アダプテーション、家父長制、環境、消費、追悼、ツーリズム、都市、表象、プロパガンダ

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：地域文化系

コース：アジア・太平洋文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
地域文化系領域アジア・太平洋文化論コース

（注）問題用紙3枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚
問題の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題　次の文章を読んで、問 1 から問 3 に日本語または英語で答えなさい。

（問題文省略）

【出典】　中西正司・上野千鶴子『当事者主権』岩波書店、2003 年、2～11 頁。
出題に際し、原文を一部省略・改変した箇所が存在する。

【出題者注】
（＊１）end user. 製品の末端使用者、末端消費者。商品を使う人。
（＊２）universal design. 障害の有無に関係なく、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること。

問1　下線部Ⓐについて、①「当事者」とは具体的にどのような人々が想定され、②「当事者主権」とは当事者が何をすることができる権利を想定しているのか、それぞれ日本語ならば 100 字程度、英語ならば 60 語程度で書きなさい。

問2　下線部Ⓑについて、女性にとっては、どのような社会であれば、ユニバーサル・デザインの社会であると筆者は考えているのか、本文の例についての記述に基づき、自分自身の言葉で述べなさい。

問3　あなたが大学院で研究しようとするアジア・太平洋の国または地域には、本文中でいう「当事者」に相当する集団として、どのような人々が存在するのか、一例を示しなさい。次に、あなたが取り上げた人々が属する社会や政府は、彼らをこれまでどのように遇してきたのかについて、説明しなさい。そのうえで、あなた自身は、研究者として、あなたが取り上げた人々と彼らが属する社会や政府をどのような観点で理解するのか、書きなさい。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：地域文化系

コース：ヨーロッパ・アメリカ文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
地域文化系領域ヨーロッパ・アメリカ文化論コース

（注）問題用紙1枚、解答用紙1枚、下書き用紙1枚
問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題

グローバリズムがヨーロッパあるいは南北アメリカの社会もしくは文化に及ぼした影響について、具体的な事例や作品を用いて日本語又は英語で論じなさい。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：異文化コミュニケーション系

コース：文化人類学

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
異文化コミュニケーション系領域文化人類学コース

（注）問題用紙1枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚
問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　以下の文化人類学における用語、（1）～（4）の意味について説明しなさい。また、（5）、（6）の研究者については、文化人類学の学説史的展開を踏まえつつ、それぞれの研究の特徴について述べなさい。日本語、または英語で解答すること。

（1）モラル・エコノミー
（2）妖術（witchcraft）と邪術（sorcery）
（3）母方交叉イトコ婚
（4）オリエンタリズム
（5）アルフレッド・ジェル（Alfred Gell, 1945—1997）
（6）フレドリック・バルト（Fredrick Barth, 1928—2016）

問題Ⅱ　経済、法、政治、宗教など、別の研究分野（discipline）でも扱われているトピックを文化人類学的に分析する際には、どのようなアプローチや特徴が考えられるか。具体例（実際の例でも架空のものでもよい）を示しながら日本語または英語で簡潔に説明しなさい。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：異文化コミュニケーション系

コース：比較文明・比較文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
異文化コミュニケーション系領域比較文明・比較文化論コース

（注）問題用紙1枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚

問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題

比較文明・比較文化という枠組みを考えてみた場合、様々なアプローチや研究が可能です。比較文明・比較文化に関係するようなある特定のテーマを設定し、独自の調査や研究を行うことで、どのような知見や展望が得られると考えますか。具体的な事例を踏まえつつ論じなさい。なお、研究計画書で主に取り上げた事例以外の事柄について取り上げ、詳述すること。（解答は日本語もしくは英語で記述すること。）

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：異文化コミュニケーション系

コース：国際関係・比較政治論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
異文化コミュニケーション系領域国際関係・比較政治論コース

（注）問題用紙 1 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙1枚
問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I

世界において多くの国家は権威主義体制による統治の下におかれてきた。中には、長期にわたって体制が持続している例も少なくない。権威主義体制の長期的持続の事例をとりあげ、それに寄与する諸要因について日本語または英語で論じなさい。

問題 II

国際関係論において、何が国際関係の安定をもたらすと考えられているか。代表的な理論を紹介しながら日本語または英語で論じなさい。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：現代文化システム系

コース：モダニティ論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題
現代文化システム系モダニティ論コース

（注）問題用紙1枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚
問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題　以下の2つの問いのうち1つを選んで、日本語または英語で答えなさい。
（なお、選択した問いの「番号」は、解答用紙にかならず記入すること。）

（1）近現代における「権力」の概念について、思想家の名前を挙げながら論じなさい。

（2）「近現代における芸術活動とコミュニケーション」という主題について、具体例を挙げながら論じなさい。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：現代文化システム系

コース：先端社会論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
現代文化システム系先端社会論コース

（注）問題用紙1枚、解答用紙1枚、下書き用紙1枚
問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題　下にあげた語の中から、A群から1つ、B群から2つの語を用いて、現代社会の問題点について論じなさい。解答用紙の解答文において、選択した語に下線を引きなさい。
解答は、日本語でも、英語でもかまいません。

A群　生涯未婚率　サード・プレイス　クルド人　技能実習制度　日本国憲法第25条
トランスフォビア　代理出産　補完的保護　団体責任(collective responsibility)

B群　家父長主義　集合的記憶　避難民　親密圏　暴力　代弁　国境管理
アソシエーション　規範　エスニック・マイノリティ

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：現代文化システム系

コース：芸術文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
現代文化システム系芸術文化論コース

（注）問題用紙 3 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚
問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I　芸術作品の価値づけと批評の役割に関する以下の文章を読み、下記の問（1）、（2）に日本語又は英語で答えなさい。

（問題文省略）

＊出典：ノエル・キャロル『批評について――芸術批評の哲学』森功次訳、勁草書房、2017 年
（ただし、表記を変えた箇所、省略した箇所がある）

問（1）芸術作品の「成功価値」と「受容価値」とは、それぞれ何を意味するのか。著者の見解を、10 行程度でまとめなさい。

問（2）芸術家と批評家の関係性について、あなた自身の考えるところを、具体例を挙げながら 15 行程度で述べなさい。

問題 II　下記の問（1）、（2）から1問を選択して、日本語又は英語で答えなさい。（解答にあたって、選択した問題番号を明示すること。）

問（1）現代の芸術文化における人材育成に関する課題について、具体例を挙げて論じなさい。

問（2）現代社会において芸術作品が共同体の形成にもたらす影響について、具体例を挙げて論じなさい。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：言語情報コミュニケーション系

コース：言語コミュニケーション

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
言語情報コミュニケーション系言語コミュニケーションコース

（注）問題用紙2枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙1枚
問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題 次の文章を読み、あとの問1、問2に答えなさい。

（問題文省略）

出典：松本克己 （2016）『ことばをめぐる諸問題―言語学・日本語論への招待』 三省堂，p.36.

問1 本文中では「複数言語、複数文化の平和共存」の意義が、どのように考えられているかをまとめなさい。そして、その意義に触れながら「複数言語、複数文化の平和共存」について、具体例をあげて論じなさい。日本語または英語で答えなさい。

問2 複数言語を視野に入れたアプローチを取り入れることで、言語コミュニケーション分野の研究にどのように寄与しうるか論じなさい。日本語または英語で答えなさい。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：言語情報コミュニケーション系

コース：感性コミュニケーション

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
言語情報コミュニケーション系感性コミュニケーションコース

（注）問題用紙3枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚
問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題 次の文章を読んで、下の問1、問2の両方に答えなさい。

（問題文省略）

注 1 verbalization ＝ 言語化。
注 2 utterance ＝ 発話。
注 3 lexical ＝ 語彙の。
注 4 prime ＝ プライミング。ここではジェスチャーがその後に生じる知覚や行動に影響を与えることを指す。
注 5 disfluent ＝ 非流暢な。

Susan Goldin-Meadow & Martha Wagner Alibali. 2013. Gesture's Role in Speaking, Learning, and Creating Language. *Annual Review of Psychology, 64.* 257-283. pp. 259-260 より一部改変。

問1．本文の内容を、350字以内の日本語または150語以内の英語で要約しなさい。

問2．本文では発話とジェスチャーの関係性について述べられている。心理学あるいは言語学のいずれかの立場から、コミュニケーションにおける言語と非言語要素の関係性について、文中以外の例を用いて、日本語または英語で具体的に述べなさい。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：言語情報コミュニケーション系

コース：情報コミュニケーション

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：
日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
言語情報コミュニケーション系情報コミュニケーションコース

（注）問題用紙1枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚
問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題 以下の説明文を読んで、問1～3に答えなさい。なお、解答言語は日本語又は英語を用いること。

人々の心身が豊かで満たされている状態を指す「ウェルビーイング(Well-being)」という概念が注目されており、コンピュータシステムの開発やデザインにおいても重視されるようになっている。

多くのアプリやサイトがユーザの注意や関心を強くひきつけることによって成り立つビジネスモデルを基盤としている。そのためにスマホの画面を見て過ごす時間が長くなりすぎていることが、ウェルビーイングを損ねていると指摘されている。

問1 上記のようなスマホの利用上の問題への対策を2つあげなさい。技術的なものでもそれ以外のもの（例えば社会制度の変更など）のいずれでもよい。なお、すでにある対策でもよいし、自分で考えた対策でもよい。

問2 問1であげた2つの対策の効果について論じなさい。

問3 人々がどのようなときに幸せを感じるかが多様であるのと同様、ウェルビーイングにも多様な側面がある。下にあげた語の1つを用いて、コンピュータや ICT によりどのようなウェルビーイングが実現可能だと思うかを述べなさい。解答用紙の解答文において、選択した語に下線を引きなさい。

IoT　データベース　ブロックチェーン　人工知能
自然言語処理　e-Learning　統計的アプローチ

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：外国語教育系

コース：外国語教育システム論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
外国語教育系外国語教育システム論コース

（注）問題用紙1枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚
問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題Ⅰ　高等教育機関における外国語教育の在り方について、あなたの考えを日本語または英語で論述しなさい。

問題Ⅱ　次の（1）～（7）の設問の中から2つ選び、日本語または英語で答えなさい。なお、解答にあたっては選択した番号を解答用紙の（　）の中に明記すること。解答の順序は問わない。

（1）普段私たちが使っている日常言語と、文学作品に見られるような詩的言語の違いを説明しなさい。
（2）韻文（verse）とは何かについて、具体例を挙げて説明しなさい。
（3）第二言語習得の達成の程度に情意要因が及ぼす影響について、具体例を挙げて説明しなさい。
（4）外国語指導において教師が学習者に出す「訂正フィードバック（corrective feedback）」とはどのようなものか、また、それが言語習得にどのような影響を及ぼすかについて、具体的に論述しなさい。
（5）リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングといった言語技能は、複数の技能を結び付けて、できるだけ統合的に教授・学習するのがよいとされている。その必要性および言語技能を統合して教える方法について論述しなさい。
（6）あなたの研究対象とする言語について、どのような語彙的、文法的、韻律的特徴があるか説明しなさい。
（7）現代の日本における社会問題を1つ挙げて、その解決に外国語教育がどのような役割を果たしうるか、あなたの考えを述べなさい。

令和５年度（2023 年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目　試験問題

領　域：外国語教育系

コース：外国語教育コンテンツ論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具（※筆箱等から出すこと）、腕時計（※時計以外の機能をもつものは不可）、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和5年度（2023年度）神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
外国語教育系外国語教育コンテンツ論コース

（注）問題用紙 1 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙1枚
問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I

世界の多くの言語について、外国語学習者の習熟度をはかるさまざまなテストが存在する（英語の TOEFL、日本語の JLPT など）。しかし、個々のテストの形態や問題の内容は大きく異なっている。この点に関して、以下の(A)および（B）に答えなさい。【日本語または英語で解答すること】

(A)あなたが知っている外国語習熟度テスト 2 種を取り上げ、その名称を明記した上で、それぞれのテストの内容上の違い、また、違いの理由として考えられることを論じなさい。

(B)応用言語学や外国語教育学の理論や実践に具体的に言及しつつ、あなたが考える理想の外国語習熟度テストの内容・構成について述べなさい。

問題Ⅱ

実社会におけるコミュニケーション能力の育成を重視する立場から、「比較」（“A is longer than B”、「A は B より長い」など）という文法項目を指導する場合の 60 分間の授業計画案を作成しなさい。学習者のレベルは初級とする。はじめに、対象とする外国語の種別、当該授業計画案の目的、具体的な対象者、前提となっている教授理論や言語習得理論を明記した後、解答用紙の記載枠に従い、授業計画案を記入しなさい。【日本語で解答すること】